

CS こひつじ科礼拝式次第

2021年4月11日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」 ヨハネによる福音書 20章27節

2、せかいのともよ（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ ヨハネの黙示録7章9～17節

この後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、種族、民族、言葉の違う民の中から集まった、だれにも数えきれないほどの大群衆が、白い衣を身に着け、手になつめやしの枝を持ち、玉座の前と小羊の前に立って、大声でこう叫んだ。「救いは、玉座に座っておられるわたしたちの神と、小羊とのものである。」また、天使たちは皆、玉座、長老たち、そして四つの生き物を囲んで立っていたが、玉座の前にひれ伏し、神を礼拝して、こう言った。「アーメン。賛美、栄光、知恵、感謝、誉れ、力、威力が、世々限りなくわたしたちの神にありますように、アーメン。」すると、長老の一人がわたしに問いかけた。「この白い衣を着た者たちは、だれか。また、どこから来たのか。」そこで、わたしが、「わたしの主よ、それはあなたの方がご存じです」と答えると、長老はまた、わたしに言った。「彼らは大きな苦難を通して来た者で、その衣を小羊の血で洗って白くしたのである。それゆえ、彼らは神の玉座の前にいて、昼も夜もその神殿で神に仕える。玉座に座っておられる方が、この者たちの上に幕屋を張る。彼らは、もはや飢えることも渴くこともなく、太陽も、どのような暑さも、彼らを襲うことはない。玉座の中央におられる小羊が彼らの牧者となり、命の水の泉へ導き、神が彼らの目から涙をことごとくぬぐわれるからである。」

おはなし 「復活の時の祝福」

門脇献一校長

皆さん おはようございます。新型コロナウイルスのためにこひつじ科の礼拝も教会で集まらないことになって1年以上たちました。お互いに会うことができないのは残念ですが、みなさんのそれぞれの礼拝が守られますようにお祈りします。

さて、今日の聖書箇所では、神様がヨハネさんに見せられた天国の教会での礼拝の幻が描かれています。その時代、ヨハネさんやイエス様を信じるクリスチャンは迫害され苦しい日々を送っていました。神様はこの幻をもって励まそうとしておられます。

ここに描かれている天国の教会の礼拝には数えきれないほど多くの人々が集っております。そして、神様とイエス様がほめたたえられているのです。人々は白い衣を着ております。この白い衣はイエス様を救い主と信じる信仰によって与えられる罪の赦しの印なのです。これらの人々はどこから来たのでしょうか。これらの人々は、イエス様を信じる信仰をもって地上の生涯を終えたすべての人々です。そこには、かつて私たちとともに教会の礼拝に集い、天国に召された信仰の先輩方もいるはずです。イエス様が十字架にかかれた時、となりの十字架で処刑され、イエス様に「イエスよ、あなたの御国においでになるときは、私を思い出してください。」と言った一人の強盗、イエス様が「はっきり言うておくが、あなたはきょう、私と一緒に楽園にいる」と言われた強盗もいるはずです。私たちの目で見ることができませんが、天国ではこのような礼拝が終わることなくささげられています。

今、私たちは集まって礼拝をささげることが困難な時を過ごしております。でも、どのような小さな群れで礼拝をささげる時でも、その礼拝にあわせて天国では数えきれない人々によって礼拝がささげられていることを覚え、励まされたいと思います。

そして、終わりの日が来ることが約束されています。その時、私たちは新しい体を与えられて復活し、神様の裁きを受けます。裁きとは神様の前で有罪か無罪か、最終的にそして永遠に分けられるということです。それは怖いと思いますか？でも、聖書の約束を思い出してください。約束は、「イエス様を自分の救い主と信じる者は、罪赦され、神の子とされ、永遠の命が与えられる」でした。これが一つ残らず自分の身に起こるのです。それは、もう変わることも古びることもない、永遠に変わることもない祝福なのです。これが復活の時の祝福です。

「見よ、神の幕屋が人の間であって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のもは過ぎ去ったからである。」(ヨハネの黙示録 21:1-5)

いのり 私たちの救い主、イエス・キリストの父なる神様、今み言葉に示されている素晴らしい励まし、力づけを与えられありがとうございます。イエス様を信じるものとして救いの約束に入れられている大きな祝福をありがとうございます。今日曜日に礼拝に集まることはできませんが、小さな礼拝でも、ともに天国でささげられる礼拝を覚え祝福を味わうことができますようにお導きください。また本日は光の子の日です。教会に与えられた子供たちの成長をともに祝う時を祝福してください。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

30、すくいぬしはハレルヤ (こどもさんびかをお用ください)